

『建築史』総目次 挿図名付き

伏見 唯（ふしみ ゆい）

建築史研究会編『建築史（けんちくし）』吉川弘文館（復刻版：ロゴス出版 1970.9）
1939年（第1巻第1号） - 1944年（第6巻第2号）

-
- ・ 本目録は1939年から1944年まで刊行された雑誌『建築史』（建築史研究会編）の総目次で、併せてそれぞれの採録記事にその挿図名を付したものである。
 - ・ 誌上に記載された記事の種類には、「本文」、「付記」、「口絵」、「資料」、「時評」、「雑評」、「小評」、「書評」、「紹介」、「雑録」がある。記事名の頭の[]は注記で、この記事の種類を示す。但し、何も記されていない場合は「本文」を示す。
 - ・ 内容が書評であるものについて、記事名から対象文献のタイトルや著者名等がわからない場合には、記事名末尾にそれを記し、注として[]で括った。
 - ・ 使用漢字を常用漢字としたほかは原則的に雑誌掲載のものを尊重した。そのほか単純誤植と考えられるものは適宜訂正した。
 - ・ 挿図名は原則的に雑誌掲載の表記を尊重した。
 - ・ 写真の挿図には、注記として、その旨を記したが、絵巻物や拓本の様に平面上の内容の写真に関してはその対象外とした。
-

第1巻第1号（1939.1）

[口絵]年中行事絵巻の所謂平野祭図の一部

巻頭言	伊東忠太	
貞観儀式大嘗会の建築（上）	関野克	1
第一図 大正大嘗宮（家蔵写真） [写真]		3
第二図 稲実院配置図		4
第三図 内外院並びに服院配置図		8
創建当時に於ける天龍寺の平面（上）	太田博太郎	13
第一図 臨川寺大井郷絵図		19
第二図 天龍寺指図（園太暦）		21
平城京二条大路と東京極路	大岡実	23
第一図 東京極路実測野帳（縮尺無視）		26
第二図 平城京東京極附近復原図（尺度は奈良尺）		27
第三図 転害門及焼門平面復原図		31
笠置寺弥勒像と笠置曼荼羅	足立康	33
第一図 笠置弥勒石像現状 [写真]		35
第二図 弥勒菩薩画像の図		36
第三図 諸尊図像の図		36
第四図 覚禅抄の図		37
第五図 四家鈔図像の図		37

第六図 笠置曼荼羅		38
第七図 大野弥勒図像図（抛奈良県報告書）		39
年中行事絵巻の所謂平野祭図について	福山敏男	42
第一図 年中行事絵巻（その一）		43
年中行事絵巻（その二）		44
年中行事絵巻（その三）		45
第二図 平野神社配置推定図（平安朝末期）		46
第三図 平野神社配置図（現在）		47
第四図 梅宮神社配置図（現在）		49
法金剛院の庭園について（上）	森蘊	54
第一図 法金剛院古図（足立氏写真）		59
第二図 法金剛院瀧遺蹟 [写真]		60
第三図 法金剛院阿弥陀堂（融通念仏縁起絵巻）		61
大和紀行（乾）	伊東忠太	64
[雑録]本会の成立と機関誌の発行		78
[雑録]本誌の編集に就いて		78
[雑録]会員芳名（其の一）		79
[雑録]本号執筆者紹介		80
第 1 巻第 2 号（1939.3）		
[口絵]大伝法院多宝塔		
石清水八幡宮社殿（上）	谷重雄	81
第一図 [石清水八幡宮配置図（現在）]		82
第二図 （一遍聖絵）		83
第三図 （春日権現霊験記）		84-85
第四図 [石清水八幡宮平面図（鎌倉初期）]		90
第五図 [石清水八幡宮平面図（現在）]		91
大安寺花厳院と宇治花厳院	福山敏男	93
宇治郡の条里と花厳院の推定位置		101
薬師寺金堂本尊と七仏薬師光背	足立康	105
第一図 薬師寺金堂本尊及び現光背 [写真]		106
第二図 夢殿本尊光背宝塔 [写真]		106
第三図 法隆寺献納御物光背 [写真]		107
第四図 薬師寺蔵大光背 [写真]		108
第五図 勝持寺薬師像及び光背 [写真]		111
第六図 新薬師寺本尊及び光背 [写真]		112
古建築の柱の内転び	大岡実	115
第一図 法隆寺東大門 [写真]		116
第二図 法隆寺南大門 [写真]		117
第三図 栄山寺八角堂 [写真]		118

第四図 法隆寺東院夢殿 [写真]		119
貞観儀式大嘗会の建築（下）	関野克	122
第四図 貞観大嘗宮推定配置図		124
第五図 近世大嘗宮正殿の図（大嘗会図式）		128
第六図 斎場内外院並に服院配置推定図		139
法金剛院の庭園について（下）	森蘊	140
第四図 法金剛院の旧池 [写真]		140
第五図 山水並野形図中の挿図		142
第六図 法金剛院現況図（明治年間の地籍図参照）		145
第七図 法金剛院想像図		145
大和紀行（坤）	伊東忠太	152
薬師院本堂及び書院	大岡実	167
第一図 薬師院本堂全景 [写真]		168
第二図 薬師院本堂平面		169
第三図 薬師院書院平面		170
第四図 薬師院本堂内部欄間 [写真]		170
第五図 薬師院本堂外陣 [写真]		172
第六図 薬師院本堂内陣 [写真]		172
第七図 薬師院書院一ノ間 [写真]		172
第八図 薬師院書院二ノ間 [写真]		172
第九図 薬師院書院三ノ間 [写真]		172
第十図 薬師院書院欄間 [写真]		172
如法院の絵馬に就いて	足立康	174
第一図 如法院絵馬		174
第二図 画像石拓本		175
[雑録]法隆寺新非再建論について	足立康	177
[雑録]軒瓦の名称に就いて	足立康	179
[雑録]太田委員の帰還		180
[雑録]本号の編集について		180
[雑録]会員芳名（其の二）		180
[雑録]執筆者紹介		181
[雑録]石田茂作氏の「法隆寺問題批判」について	足立康	181
[雑録]前号正誤表		182
第 1 巻第 3 号（1939.5）		
[口絵]法隆寺若草塔心礎		
法隆寺再建論と新非再建論	足立康	183
清水寺長谷寺石山寺の礼堂	福山敏男	207
第一図 清水寺本堂（大岡氏写真） [写真]		208
第二図 清水寺本堂平面略図		209

第三図	法然上人行状絵図に見ゆる清水寺舞台		209
第四図	清水寺縁起に見ゆる清水寺舞台		210
第五図	長谷寺本堂（大岡氏写真） [写真]		213
第六図	長谷寺本堂平面略図		213
第七図	石山寺本堂側立面図		215
第八図	石山寺本堂平面略図		215
第九図	石山寺縁起巻三に見ゆる石山寺礼堂		216
第十図	石山寺縁起巻四に見ゆる石山寺礼堂		216
第十一図	石山寺縁起巻四に見ゆる石山寺礼堂		217
第十二図	石山寺本堂平面復原略図		217
座敷絵に就て		谷信一	220
石清水八幡宮社殿（下）		谷重雄	227
第六図	現社殿平面図		228
第七図	現社殿側面図		228
第八図	（松崎天神縁起）		229
第九図	（鶴岡八幡宮古図）		231
第十図	（一遍聖絵）		232
第十一図	（一遍聖絵）		232
第十二図	（春日権現霊験記）		233
東大寺法華堂礼堂の造営年代		中上川彦一郎	239
東大寺法華堂 [写真]			240
金剛輪寺三重塔		乾兼松	243
第一図	塔婆全景 [写真]		243
第二図	塔婆細部 [写真]		244
第三図	相輪細部 [写真]		245
満願寺観音堂		大岡実	246
第一図	満願寺（観音堂）全景 [写真]		247
第二図	満願寺観音堂平面		247
第三図	満願寺観音堂外陣 [写真]		248
第四図	満願寺観音堂細部 [写真]		249
第五図	松尾寺薬師堂細部 [写真]		249
第六図	盛蓮観音堂細部 [写真]		249
第七図	修法札 [写真]		250
[雑録]藤原宮址の発掘		竹井春男	254
[雑録]法隆寺若草塔心礎と関野博士		足立康	254
第一図	野村邸の若草塔心礎（大朝写真） [写真]		255
[雑録]「法隆寺」の改訂			255
[雑録]「元興寺塔婆復原考」を読む [太田静六著]		足立康	257
[雑録]宮城前広場の改造			258
[雑録]明治二十八年における古社寺調査の一斑		関野克	259

[雑録]梅原・松本両氏の学位受領	261
[雑録]福山委員の学位受領	261
[雑録]新入会会員芳名	261
[雑録]執筆者紹介	262
[雑録]前号目次	262

第1巻第4号(1939.7)

[口絵]長寿寺本堂

法隆寺若草塔の心礎	足立康	263
第一図 若草塔趾古図(大体の位置を示す)		264
第二図 関野博士の若草塔心礎見取図		265
第三図 若草塔心礎全景 [写真]		266
第四図 若草塔心礎細部(大朝写真) [写真]		266
第五図 若草塔心礎見取図		267
第六図 寺院志の塔礎図		268
第七図 法隆寺五重塔と若草塔心礎の彫込み		273
国分寺の創建について	家永三郎	279
彫刻史上に於ける貞観時代の下限	金森遵	295
第一図 観心寺如意輪観音像		299
第二図 仁和寺観音及び勢至像		301
第三図 醍醐寺薬師如来像		302
第四図 広隆寺地藏菩薩像		303
第五図 薬師寺僧形八幡御影		304
第六図 岩船寺阿弥陀如来像		306
日本建築屋蓋の反転曲線について	大岡実	309
第一図 興福寺北円堂 [写真]		310
第二図 興福寺三重塔 [写真]		310
第三図 修理前の興福寺三重塔 [写真]		311
第四図 興福寺北円堂小屋組		312
第五図 東大寺開山堂 [写真]		314
第六図 清水寺本堂 [写真]		315
創建当時の平安宮紫宸殿に就て	関野克	317
第一図 紫宸殿平面図(大内裏図考証に拠る)		320
第二図 中世(年中行事絵巻)と現代(写真)の紫宸殿		321
創立時代に於ける天龍寺の平面(下)	太田博太郎	324
第一図 天龍寺古図		327
第二図 現状古図対比図		330
第三図 天龍寺伽藍復原図		330
喜田先生を悼む	足立康	336
[故喜田貞吉博士] [写真]		336

喜田博士の思出	福山敏男	343
[資料]永禄在銘の風鐸	大岡実	346
[永禄在銘の風鐸] [写真]		347
[資料]山川並野形図紙背の具注歴	福山敏男	347
[資料]支那建築に於ける柱の内転び	村田治郎	348
[資料]法隆寺金堂持統天皇七年再建説の根拠	足立康	348
[雑録]喜田先生の急逝	足立康	350
[雑録]法隆寺の修理と壁画保存調査会		350
[雑録]東大寺境内の問題	足立康	350
[雑録]「現代建築」の発刊		351
[雑録]新入会員		352
[雑録]執筆者紹介		352
[雑録]本会第三十回及び三十一回研究例会		352
[雑録]前号目次		352

第 1 巻第 5 号 (1939.9)

[口絵]熊野那智神社本殿		
法隆寺建築の様式に就て	足立康	353
法隆寺金堂の天蓋と須弥座	福山敏男	371
第一図 支輪板文様 [写真]		381
第二図 垂板内面文様 [写真]		381
第三図 楽天 [写真]		381
第四図 鳳凰 [写真]		382
第五図 玉蟲厨子の鳳凰 [写真]		382
第六図 中天蓋飾金物 [写真]		382
第七図 西天蓋支輪板裏飛天		382
第八図 御物灌頂幡飛天 [写真]		382
第九図 吹返板文様 [写真]		383
第十図 天寿国繡帳の文様		383
第十一図 須弥座蓮弁 [写真]		384
第一二図 御物辛亥銘菩薩像台座 [写真]		384
第十三図 野中寺弥勒像台座 [写真]		384
第十四図 東壇上座框側面文様		385
第十五図 御物灌頂幡の忍冬唐草 [写真]		385
第十六図 金堂軒平瓦 [写真]		385
第十七図 金堂雲形都斗		385
大官大寺の伽藍配置	大岡実	386
第一図 講堂趾(南方より) [写真]		386
第二図 塔趾(上方より) [写真]		387
第三図 大官大寺趾実測図		388

第四図 大官大寺趾 附近地籍図		389
第五図 岡本氏見取図		389
第六図 本澤氏実測図及其の説明（考古界第四卷二号より転載）		390
第七図 大官大寺塔及び講堂復原図		392
室生寺の貞観彫刻について	小林剛	397
第一図 金堂内部仏像全景 [写真]		398
第二図 釈迦如来像及び細部 [写真]		399
第三図 十一面観音像 [写真]		400
第四図 文殊菩薩像 [写真]		400
第五図 釈迦如来坐像 [写真]		401
第六図 釈迦如来坐像細部 [写真]		401
第七図 如意輪観音像 [写真]		402
第八図 地藏菩薩像 [写真]		403
第九図 薬師如来像 [写真]		403
第十図 弥勒菩薩像 [写真]		404
第十一図 室生寺釈迦像蓮弁 [写真]		405
第十二図 観心寺如意輪像蓮弁 [写真]		405
春日造の名称に関連して	谷重雄	413
第一図 [春日神社本殿正面図]		413
第二図 [国王神社本殿] [写真]		415
第三図 [国王神社本殿] [写真]		415
室町時代における「前栽秘抄」の影響	森蘊	422
平家納経に見える僧庵	関野克	434
第一図 [見返絵（勸持品第一三）]		434
第二図 [見返絵（神力品第二十一）]		435
第三図 [信貴山縁起]		436
第四図 [信貴山縁起]		436
第五図 [春日権現霊験記]		436
第六図 [法然上人行状絵図]		436
第七図 [銀閣寺東求堂] [写真]		436
第八図 [妙喜庵] [写真]		436
都祁水分神社本殿の建築年代	黒田昇義	437
第一図 同社本殿（大岡氏撮影） [写真]		437
[資料]和様唐様折衷の最古の実例	大岡実	439
内陣大斗下端墨書		439
[資料]瓦葺宮殿の権与	足立康	440
[資料]東大寺の銅懸魚	中上川彦一郎	440
[資料]古美術雑記（飛鳥時代の連珠文）	足立康	441
夢殿本尊宝冠の連珠文		442
[資料]古美術雑記（大安寺塔の迦葉像と笠置弥勒の脇侍）	足立康	442

[資料]古美術雜記（本元興寺塔に関する弁曉の注進状）	足立康	443
[雜録]喜田先生の鴻恩	足立康	444
[雜録]内務省神社局造営課の新設		445
[雜録]東方文化学院院長の新任		445
[雜録]古建築関係者の親睦会	関野克	446
[雜録]竹島委員の帰還		446
[雜録]本会第三十二回研究例会		446
[雜録]関野博士と多久聖廟	足立康	447
[雜録]前号目次		447
[雜録]法隆寺資財帳の一記文	足立康	448

第1巻第6号（1939.11）

[口絵]東大寺本坊経庫全景及び細部		
奈良時代の画師に関する考察	野間清六	449
奈良時代画師分布図		457
校倉について	足立康	470
第一図 北米蒸籠造の一例（ケンタッキー） [写真]		471
第二図 支那蒸籠造の一例（雲南） [写真]		472
第三図 蒸籠造倉の一例（信州諏訪郡） [写真]		473
第四図 唐招提寺経蔵及び宝蔵 [写真]		474
第五図 自玉手祭来酒解神社神輿庫 [写真]		475
貞観の彫刻に関する一二の問題	金森遵	485
第一図 法隆寺講堂薬師如来像 [写真]		486
第二図 善水寺薬師如来像 [写真]		487
第三図 岡寺義淵僧正像 [写真]		489
高野山本尊の丈量について	足立康	490
平安時代に於ける奈良式伽藍配置	大岡実	491
最勝四天王院の障子絵	福山敏男	497
第一図 最勝四天王院位置推定図		498
第二図 最勝四天王院堂舎配置推定図		503
支那建築の柱の延びと内転び	竹島卓一	507
上醍醐の炎上	谷重雄	516
[付記]上醍醐の経蔵	足立康	518
第一図 焼失前の上醍醐経蔵 [写真]		516
第二図 経蔵の焼失 [写真]		517
第三図 経蔵の焼跡 [写真]		517
第四図 経蔵の細部 [写真]		518
第五図 修理前の経蔵 [写真]		519
源氏の貞観建築論を読む [「日本文化史大系」]	足立康	521
[付記]源氏の貞観彫刻年代論について	足立康	528

[資料]築地の於板について	関野克	532
築地（年中行事絵巻）		533
[資料]永安三年在銘仏像の発見	福島宗緒	534
玉峯寺薬師像　[写真]		534
玉峯寺多聞天像　[写真]		534
[資料]賢聖障子絵の製作年代	松崎宗雄	535
[資料]古美術雑記（神護寺五大虚空蔵菩薩像の造顕年代）	足立康	536
[資料]古美術雑記（法隆寺甲寅在銘釈迦像光背）	足立康	537
[資料]古美術雑記（観心寺本堂の造営年代）	足立康	537
[雑録]多久聖廟について	足立康	539
[雑録]日吉造の屋蓋	中上川彦一郎	539
[雑録]法隆寺夢殿と興福寺東金堂の修理		540
[雑録]忠霊塔設計図案公募		540
[雑録]感身学正記の複製		540
[雑録]黑板博士論文集の刊行		541
[雑録]新会員		541
[雑録]執筆者紹介		542
[雑録]本会第三十三回及び三十四回研究例会		542
[雑録]前号目次		542

第2巻第1号（1940.1）

[口絵]神明宮本殿		
日本芸術と人格	滝精一	1
豊公聚楽第の大広間	大熊喜邦	4
第一図　[岸上家伝来の大広間の図]		6
第二図　[坂上勘兵衛伝来武家目録の当世広間]		9
第三図　[平内家伝書殿屋集の当代広間]		10
第四図　西本願寺大広間		11
第五図　仙台城本丸大広間		12
第六図　[岸上家覚書中の尾張大納言様御広間]		13
参考　仙台城本丸大広間東面図（師団司令部所蔵）		14
二条城の創建に就いて	足立康	16
平安宮十二門の門号について	松崎宗雄	23
東寺の伽藍配置	大岡実	30
東寺金堂　[写真]		30
東寺伽藍現状実測図		40
東寺伽藍配置復原図		41
支那古代の尺度に関する一考察（上）	竹島卓一	42
第一図　王莽嘉量図		48
第二図　王莽嘉量測定位置図		49

第三図 嵩山石闕平面略図		55
東大寺大仏殿の永祿再興に就いて	中上川彦一郎	58
重源上人と陳和卿	太田博太郎	63
法隆寺研究の動機	伊東忠太	67
[時評]法隆寺若草伽藍趾の発掘	足立康	73
[資料]神明宮本殿	大岡実	77
[資料]石の間	福山敏男	77
北野神社社殿平面（現在）		79
[資料]桂離宮御庭の造営年代	森蘊	81
[資料]向造の名称について	小倉強	83
日吉神社本殿 [写真]		83
[資料]古美術雑誌（一 広隆寺阿弥陀像と永原氏）	足立康	83
[資料]古美術雑誌（二 重源上人の塔）	足立康	84
重源上人塔正面及び背面 [写真]		85
重源上人塔復原実測図		86
[資料]古美術雑誌（三 東寺金堂の造営年代）	足立康	87
[雑評]軒瓦名称の問題	足立康	88
[雑評]「国分寺塔婆の一考察」を読む [太田静六著]	足立康	90
[雑評]本薬師寺の位置の問題	足立康	91
[雑評]大官大寺心礎の問題	足立康	92
[雑録]法隆寺若草塔心礎と其の附近の発掘	中上川彦一郎	94
[雑録]藤原宮趾発掘開始	竹井春男	94
[雑録]二条離宮の下賜		94
[雑録]唐招提寺礼堂及び東室の修理		95
[雑録]古美術自然科学研究会の事業		95
[雑録]奈良帝室博物館長の招宴		95
[雑録]新会員		96
[雑録]新執筆者紹介		96
[雑録]本会三十五回及び三十六回研究例会		96
[雑録]前号目次		96
 第2巻第2号（1940.3）		
[口絵]播磨八千穂村出土鴟尾		
東寺講堂とその真言仏像	足立康	97
東寺講堂の真言仏像（飛鳥園写真） [写真]		103
棺に利用されたる鴟尾	梅原末治	113
第一図 鴟尾形状図		115
第二図 掘り出された現場での鴟尾棺 [写真]		116
第三図 発見地附近の地形図（五万分の一）		118
第四図 出土遺跡の現状図		119

醍醐寺の伽藍配置	大岡実	122
第一図 醍醐寺堂塔配置現状実測図		125
第二図 醍醐寺金堂及び廻廊平面推定図		130
第三図 醍醐寺伽藍配置推定図		131
平安京の宅地割と町屋	関野克	133
第一図 平安京四行八門図（捨芥抄）		133
第二図 現在京都宅地割		139
第三図 年中行事絵巻に見える町屋		140
第四図 年中行事絵巻に見える町屋		140
第五図 町屋の構造		141
第六図 年中行事絵巻に見える店屋		141
第七図 扇面古写経下絵に見える店屋		141
東寺五大尊画像	金森遵	143
第一図 [降三世明王像]		144
第二図 [軍荼利明王像]		144
第三図 [不動明王像]		145
支那古代の尺度に関する一考察（下）	竹島卓一	151
第四図 武氏祠石闕実測図		151
第五図 武氏祠石室画像石実測図		153
第六図 孝堂山石室実測図		156
第七図 孝堂山下石祠		158
第八図 営城子古墳実測図		159
第九図 楽浪古墳第一号墳実測図		161
上醍醐薬師三尊と会理僧都	足立康	168
善阿弥初期の作庭	森蘊	171
[資料]神護寺永平実録帳（公刊）	委員	176
[資料]慶長以前の三宝院庭園	森蘊	180
[資料]古美術雑記（一 西大寺四仏坐像）	足立康	183
[資料]古美術雑記（二 玉宮と玉瓦）	足立康	184
[資料]古美術雑記（三 鴟尾の材料）	足立康	186
[雑評]「金の上京趾白城に就いて」を読む [園田一亀著]	竹島卓一	188
[雑評]太田氏の寝殿造に対する態度 [太田静六著「寝殿造について」]		
	関野克	191
[雑評]「仏像の鑑賞」を読む [中村亮平著]	金森遵	192
[雑評]短評二則（春日神社板蔵と法花八講）	中上川彦一郎	193
[雑評]短評二則（法隆寺金堂本尊の丈量）	中上川彦一郎	194
[雑評]二条城本丸と天明の大火	足立康	195
[雑録]法隆寺若草伽藍趾の発掘経過	足立康	196
大朝掲載見取図		196
[雑録]法隆寺東院舎利殿下遺構の発見	中上川彦一郎	197

[雑録]法隆寺金堂壁画模写担当者の決定		197
[雑録]東大寺寺地の問題	足立康	197
[雑録]宝台院大方丈及び霊屋の焼失		198
[雑録]忠霊塔懸賞図案入選者		198
[雑録]田辺泰氏の学位受領		199
[雑録]関野委員の東大助教授就任		199
[雑録]新会員		199
[雑録]新執筆者紹介		199
[雑録]本会三十七回及び三十八回研究例会		199
[雑録]前号目次		199

第2巻第3号(1940.5)

[口絵]泉涌寺古図		
平城京朝堂院龍尾壇の問題	松崎宗雄	201
第一図 平城京復原図(平城京及大内裏考による)		202
第二図 平城京朝堂院趾(平城京趾調査報告による)		207
観心寺本尊と観心寺縁起実録帳	足立康	211
観心寺本尊(飛鳥園写真) [写真]		212
法成寺の創立に関する文献	家永三郎	223
泉涌寺伽藍について	太田博太郎	235
茅負に於ける特殊なる技法	大岡実	248
[軒先詳細図]		252
仏像光背の基本形式について	足立康	255
第一図 法隆寺釈迦像 [写真]		259
第二図 室生寺地藏像光背 [写真]		260
第三図 新薬師寺准胝観音像 [写真]		261
第四図 法界寺阿弥陀像 [写真]		261
第五図 額安寺虚空蔵像 [写真]		262
第六図 浄瑠璃寺馬頭観音像 [写真]		263
広隆寺資財帳の刊本	中上川彦一郎	270
絵巻物に見える帳台構	関野克	275
第一図 霊雲院帳台構 [写真]		275
第二図 伴大納言絵詞		276
第三図 餓鬼草子		276
第四図 春日権現霊験記		276
第五図 法然上人行状絵図		276
第六図 松ヶ崎天神縁起		276
第七図 石山寺縁起		276
第八図 鳥居障子(寢覚物語絵巻)		277
[時評]鹿鳴館建築の問題	足立康	279

[資料]北畠男の法隆寺二寺説	家永三郎	281
[資料]慈照寺庭園の作者に関する疑	森蘊	282
[資料]平城京と小学国史	足立康	284
[雑評]「前藤原宮」と「後藤原宮」 [喜田貞吉著「帝都」]	松崎宗雄	287
[雑評]「天竺様の源流」を読む [村田治郎著]	大岡実	288
[雑評]「室町時代の庭樹について」を読む [吉永義信著]	森蘊	288
[雑録]法隆寺再建論の発表	足立康	290
[雑録]雄水門伝説地の決定	足立康	290
[雑録]橿原神宮参道の問題	足立康	290
[雑録]帝都に関する論稿	中上川彦一郎	291
[雑録]喜田博士追悼録「景慕集」の上梓		292
[雑録]薬師寺研究に関する会合		292
[雑録]東方文化学院創立十周年記念の催		292
[雑録]正木直彦翁の訃		292
[雑録]明珍恒男氏の訃		293
[雑録]新入会員		293
[雑録]本会三十九回及び四十回例会		293
[雑録]編集及び発行日の変更		293
[雑録]前号目次		294

第2巻第4号(1940.7)

[口絵]六榕寺の塔婆		
上賀茂神社嘉元造替の本殿	谷重雄	295
第一図 寸法書の一部		310
第二図 賀茂別雷神社本殿図		311
第三図 賀茂別雷神社本殿復原図		312-313
第四図 賀茂別雷神社古図の一部		314
広州の仏寺	岸田日出刀	317
第一図 懷聖寺の光塔 [写真]		320
第二図 光孝寺本殿 [写真]		321
第三図 光孝寺本殿斗組 [写真]		322
第四図 大仏寺後殿前方柱廊の柱 [写真]		324
肖像画家としての長谷川等伯	土居次義	325
第一図 日通上人像		326
第二図 日通上人像落款		328
第三図 日通上人像部分		329
第四図 妙法尼寿像		330
第五図 妙法尼寿像部分		333
第六図 利休居士像		335
第七図 利休居士像部分		336

唐招提寺の遺構	岸熊吉	341
第一図 重圈文軒丸瓦 [写真]		348
第二図 重弧文軒平瓦 [写真]		349
第三図 唐招提寺遺構平面図		353
第四図 遺構縦断面図		354
第五図 遺構A（東より見る） [写真]		355
第六図 遺構B（東より見る） [写真]		355
第七図 遺構AとCの取合（木樋腐朽後の工作） [写真]		355
第八図 遺構A C D合流点（東方より見る） [写真]		355
第九図 遺構Aの西端 [写真]		356
第十図 AとEの合流点 [写真]		356
第十一図 遺構Eの一部 [写真]		356
第十二図 遺構Eの南端 [写真]		356
大安寺の伽藍配置に就いて	足立康	357
第一図 大安寺伽藍古図		358
第二図 大安寺塔と条坊との関係（抛大岡氏推定復原図）		359
日本建築解説（上代）	福山敏男	367
出雲大社本殿（抛国宝帳）		368
同正面		368
同平面		368
皇大神宮正殿（抛美術略史）		371
同正面		371
同側面		371
同平面		371
住吉神社本殿（抛国宝帳）		373
同正面		373
同側面		373
同平面		373
建築史研究の態度に就いて	足立康・大岡実	374
[資料]法興寺の打毬	足立康	380
[資料]東大寺雑記二則（大仏後山の全身）	中上川彦一郎	382
[資料]東大寺雑記二則（円照上人行状に見える法華堂礼堂）	中上川彦一郎	382
[資料]法成寺塔婆に関する一史料	家永三郎	383
[法成寺塔婆]		384
[資料]樺太島酋長墓の図	小倉強	385
[樺太島酋長墓の図]		385
[小評]「新日本外史」と通俗書の責任 [菊地寛著]	足立康	386
[小評]寝殿造の源流	関野克	389
[小評]最近の法隆寺再建論を評す	足立康	389
[小評]山田博士の作庭記解説を読む	森蘊	390

[雑録]藤原宮址調査の近況	竹井春男	392
[藤原宮址]		392
[雑録]奈良県国宝建造物修理の現状	黒田昇義	392
[雑録]法隆寺東院の発掘	中上川彦一郎	393
[雑録]建築模型の陳列	足立康	393
[雑録]日本美術史縮冊版の刊行		394
[雑録]「唐招提寺新研究」の上梓	中上川彦一郎	394
[雑録]建築学会論文集大会号		395
[雑録]美術復興調査会委員の決定		395
[雑録]奈良帝室博物館長の勇退		395
[雑録]新会員		395
[雑録]新執筆者紹介		395
[雑録]本会四十一回研究例会		396
[雑録]前号目次		396
[雑録]檜尾寺について	足立康	394

第2巻第5号(1940.9)

[口絵]松崎神社多宝塔

前栽秘抄の研究	森蘊	397
第一図 [前栽秘抄]		398
第二図 [前栽秘抄]		403
第三図 近世庭坪地形図(模写)		413
第四図 子をとろ子とろ(搦骨董)		414
大津宮の位置に就いて	足立康	416
第一図 滋賀村附近図(滋賀県史蹟調査報告第二)		418
第二図 勸学堂の廃寺址(拠滋賀県史蹟調査報告第二)		419
牢度叉闘聖変相の一断片	松本栄一	428
第一図 牢度叉闘聖変相断片		429
第二図 万仏峡第二窟壁画牢度叉闘聖変相		430
常陸新治廃寺の調査	高井悌三郎	435
第一図 新治廃寺址附近地形図(陸測三万五千分の一に拠る)		435
第二図 金堂址土壇 [写真]		436
第三図 金堂址残礎(南面第二礎) [写真]		436
第四図 東塔址心礎 [写真]		437
第五図 金堂址礎床遺構 [写真]		438
第六図 金堂址礎床遺構俯瞰 [写真]		439
第七図 中門址発掘状況(金堂址より望む) [写真]		440
第八図 寺址実測平面図(昭和十四年十一月二十六日実測)		441
第九図 北方地区前後堂宇間廊址周縁石材 [写真]		442
第十図 軒瓦一組(1/6) [写真]		448

第十一図 軒瓦一組 (1/6) [写真]		449
第十二図 文字瓦 [写真]		450
第十三図 鍍金飾金具 (1/3) [写真]		451
第十四図 上野原瓦窯趾図 (昭和十五年六月六日実測)		457
第十五図 北側火炊口 [写真]		458
第十六図 鬼板片 (7/20) [写真]		460
平安時代公家住宅建築三例	関野克	462
小塔に見える建築的意匠	大岡実	469
第一図 浄土寺五輪塔 [写真]		471
第二図 金剛峰寺蔵金堂宝篋印塔 [写真]		472
第三図 宝篋印塔基壇平面 [写真]		472
第四図 弘津史文氏蔵木造三重塔 [写真]		473
日本建築解説 (飛鳥)	足立康	475
第一図 法隆寺全景 [写真]		476
第二図 法隆寺現状平面図		476
第三図 法隆寺金堂 [写真]		478
第四図 法隆寺金堂内部 [写真]		478
第五図 法隆寺金堂正面図		479
第六図 法隆寺金堂縦断面図及平面図		479
第七図 雲斗雲肘木		480
[資料]天寿国繡帳の原形	足立康	481
[資料]延暦十二年の平安宮十二門の造営	松崎宗雄	483
[資料]益之集箴の作庭	森蘊	484
[資料]古建築雑記二則 (建長寺指図と東福寺)	足立康	486
[資料]古建築雑記二則 (二条城本丸焼失時日)	足立康	487
[小評]「建築史研究の態度に就いて」を読む [足立康・大岡実著]		
	谷信一	488
[小評]「日本美術」建築編を読む [植田寿蔵著]	足立康	490
[小評]京都市編「京都の庭園」	森蘊	491
[雑録]斑鳩宮趾の発見	中上川彦一郎	494
[斑鳩宮趾]		494
[雑録]法隆寺壁画模写の担当者		494
[雑録]興福寺東金堂前石燈籠	足立康	495
[雑録]伽藍配置の復原に就いて	足立康	495
[雑録]「日本の建築と芸術」の上梓	中上川彦一郎	496
[雑録]千利休に関する新研究	足立康	496
[雑録]王塚装飾古墳の報告書	足立康	497
[雑録]地方文化に関する懇談会		497
[雑録]文部省史跡調査室の充実		497
[雑録]奈良帝室博物館建築史講堂の開講		498

[雑録]新会員	498
[雑録]新執筆者	498
[雑録]本会四十二回及び四十三回研究例会	498
[雑録]前号目次	498

第2巻第6号(1940.11)

[口絵]宝来山神社本殿		
興福寺北円堂とその仏像の再興	足立康	499
宋代に於ける方位の決定と水盛法	竹島卓一	517
第一図 景表版		520
第二図 望筒		520
第三図 水池景表		522
第四図 水平		525
第五図 真尺		526
平城京宅地割の一例	松崎宗雄	528
東大寺の鐘楼について	太田博太郎	534
第一図 東大寺鐘楼細部 [写真]		535
第二図 東大寺鐘楼斗 示性式		536
慶長造営の伊賀上野城天守に就いて	藤岡通夫	541
第一図 伊賀上野城天守台平面古図(安場惣太郎氏蔵)		546
第二図 伊賀上野城大手門(安場惣太郎氏蔵)		548
第三図 天守古図(安場惣太郎氏蔵)		549
安祥寺五智如来像の造顕年代	足立康	553
安祥寺五智如来像		554
興福寺再興と九条兼実の国体観	中上川彦一郎	565
釈家並びに庶民住宅に於ける納戸	関野克	567
第一図 [春日権現霊験記]		567
第二図 [松ヶ崎天神縁起]		568
宝来山神社本殿の建築	大岡実	569
第一図 宝来山神社本殿 [写真]		569
第二図 同墓股 [写真]		570
第三図 同斗 [写真]		570
[資料]神宮の式年造替について	福山敏男	571
[資料]栄西の「入唐縁起」について	足立康	572
[資料]二代目世阿弥	森蘊	574
[資料]延暦寺相輪 の規模	足立康	576
第一図 現在の延暦寺相輪 [写真]		576
第二図 延暦寺相輪 古図		577
[書評]「法隆寺論攷」 [喜田貞吉著]	中上川彦一郎	581
[書評]「日本美術史年表」 [源豊宗編]	足立康	582

[雑録]建築史学界の現況	中上川彦一郎	585
[雑録]法隆寺修理の現状		585
[雑録]外宮正殿の竣功		586
[雑録]法隆寺若草伽藍趾の保存		586
[雑録]東寺金堂旧基壇の発見		587
[雑録]檜尾寺の位置について	足立康	587
[雑録]宇瓦鐙瓦なる名称	足立康	587
[雑録]日本郷土会の結成		587
[雑録]薬師寺に関する講習会		588
[雑録]建築関係雑誌の統制と本誌		588
[雑録]新会員		588
[雑録]新執筆者		588
[雑録]本会四十四回研究例会		588

第3巻第1号(1941.1)

[口絵]本願寺本堂		
高野山根本大塔とその本尊	足立康	1
第一図 昭和大塔設計図		14
第二図 創建大塔復原見取図		14
第三図 御手印縁起の大塔図		15
大安寺僧坊の配置	大岡実	19
第一図 天平十九年大安寺僧坊配置図		27
第二図 大安寺僧坊創建計画復原図		29
第三図 薬師寺僧坊配置推定図		30
宋代に於ける土作制度	竹島卓一	31
第一図 城壁断面形図		39
第二図 牆壁断面形図		43
第三図 堰水図(中国营造学社彙棗による)		46
迎講と裳婆屋	藤田寛雅	47
工匠より見たる藤原建築界	太田博太郎	56
鹿苑寺の金閣と庭園	森蘊	64
東大寺南大門の再興	中上川彦一郎	73
本願寺本堂	大岡実	80
第一図 本願寺本堂内部 [写真]		81
第二図 本願寺本堂平面見取図		81
第三図 同細部 [写真]		82
[時評]年号名寺院と年号の尊厳	足立康	83
[資料]正倉院と甲雙倉	足立康	85
[資料]源氏物語絵巻に見えたる寝殿造細部	関野克	87
第一図 [源氏物語絵巻]		88

第二図 [源氏物語絵巻]		88
第三図 [源氏物語絵巻]		89
第四図 [源氏物語絵巻]		89
[資料]銀沙灘と仙草壇	森蘊	89
[書評]「支那と仏塔」 [村田治郎著]	竹島卓一	93
[書評]「日本史蹟の研究」 [上田三平著]	足立康	95
[雑録]崇福寺塔婆舍利容器発見	足立康	97
[雑録]近江神宮の竣工		97
[雑録]神祇院の設置		97
[雑録]美術振興会の廃止		98
[雑録]日本古文化研究所の光栄	中上川彦一郎	98
[雑録]正倉院御物特別展観		99
[雑録]神道美術展覧会建築の部		99
[雑録]「法隆寺」の上梓 [伊東忠太著]	中上川彦一郎	100
[雑録]国華第六百号の上梓		100
[雑録]「日本建築史」に関する補訂	足立康	100
[雑録]大岡委員の文部技師就任		100
[雑録]新入会員		102
[雑録]新執筆者紹介		102

第3巻第2号(1941.3)

[口絵]金地院庭園		
神明造と大社造との関係	足立康	103
第一図 出雲大社平面図		104
第二図 大社金輪造営図(玉勝間所載)		105
第三図 神宮正殿平面図		107
第四図 外幣殿の棟持柱(内宮図絵による)		109
第五図 銅鐸に見える二間三間屋		110
第六図 銅鐸に見える二間三間屋		111
第七図 神明造と大社造との関係を示す図表		113
宋代に於ける石工法と柱礎の制度	竹島卓一	120
柱礎の図(写本に拠る)		128
立部と透垣	関野克	131
第一図 源氏物語絵巻		132
第二図 源氏物語絵巻		132
第三図 源氏物語絵巻		132
第四図 年中行事絵巻		132
第五図 年中行事絵巻		132
第六図 年中行事絵巻		132
第七図 年中行事絵巻		134

第八図 年中行事絵巻		134
第九図 承安五節絵		134
第十図 年中行事絵巻		134
第十一図 志貴山縁起		134
第十二図 年中行事絵巻		134
太山寺本堂再建年代に関する文献	望月信成	138
[太山寺再建勸進帳]		140
金地院の庭園	森蘊	145
第一図 金地院古図（堀口捨巳氏写真）		148
第二図 金地院古図庭園の部（堀口捨巳氏写真）		149
第三図 細流向側正面の立石群		154
工学博士足立康著「日本建築史」を読む	岸田日出刀	158
山田寺講堂平面の実測に就いて	大岡実	163
藤原宮御井につき斎藤茂吉博士に答ふ	足立康	169
[資料]層と簷	竹島卓一	197
[資料]大仙院庭園の作者	森蘊	182
[資料]釣台と水閣	足立康	185
[資料]興福寺東金堂発見の銀腕に関する疑	黒田昇義	187
[書評]「大津京趾」 [柴田実著]	足立康	189
[雑録]賀久山陵について	足立康	193
[雑録]姫路城天守の傾斜	中上川彦一郎	193
[雑録]国史館創設事業の現状	足立康	194
[雑録]法隆寺壁画赤外写真印行		194
[雑録]滝博士の朝日文化賞受領	足立康	194
[雑録]再び「日本建築史」の訂正	足立康	195
[雑録]阪谷良之進氏の訃		195
[雑録]有坂 蔵博士の訃		196
[雑録]太田委員の転任		196
[雑録]新会員		196
[雑録]執筆者紹介		196
[雑録]本会第四十回及び四十八回研究例会		196
 第3巻第3号（1941.5）		
[口絵]妙楽寺本堂		
[口絵]明通寺本堂		
権現造と石間造	足立康	197
第一図 北野神社社殿平面（現在）		199
第二図 豊国廟指図		200
第三図 日光東照宮石間		202
第四図 石間の変遷を示す図表		204

第五図 神道名目類聚抄の権現造		206
小堀遠州の造	森蘊	211
第一図 遠州肖像		214
第二図 遠州筆蹟		214
第三図 孤逢庵忘筌席と露地 [写真]		217
第四図 孤逢庵石燈籠 [写真]		222
第五図 金地院方丈南庭の長石 [写真]		224
第六図 仙洞御所御庭 [写真]		225
第七図 孤逢庵庭園石組 [写真]		226
第八図 孤逢庵庭園石橋 [写真]		227
宋代の基壇に関する石材	竹島卓一	235
第一図 角石角柱及び壓欄石（石印本）		236
第二図 首（石印本）		242
第三図 殿堂内地面心闘八（石印本）		243
第四図 踏道		244
公家住宅の発展とその衰退	太田博太郎	246
京極土御門殿の東対に就いて	関野克	253
第一図 京極土御門殿東対推定平面図		255
第二図 東三条殿東対（年中行事絵巻）		256
第三図 仙院西対（年中行事絵巻）		257
鎌倉大仏の丈量	足立康	262
鎌倉大仏		269
如楽寺如通寺の建築	大岡実	273
第一図 妙楽寺本堂平面見取図		273
第二図 妙楽寺本堂外陣 [写真]		274
第三図 妙楽寺本堂斗 [写真]		274
第四図 妙通寺本堂平面見取図		275
第五図 妙通寺本堂外陣 [写真]		275
第六図 妙通寺本堂正面 [写真]		276
第七図 妙通寺三重塔全景 [写真]		277
第八図 妙通寺三重塔軒斗 [写真]		277
[資料]源頼朝像北条時頼像上杉重房像について	福山敏男	279
平時頼木像（鎌倉禅興寺安置）		281
同木像（鎌倉明月院安置）		281
藤原憲方（鎌倉明月院安置）		281
北条時頼像（建長寺蔵） [写真]		281
伝源頼朝像（源氏蔵） [写真]		281
上杉重房像（明月院蔵） [写真]		281
[資料]尊勝寺の伽藍配置	足立康	282
[資料]にぎはひ草と桂離宮庭園論争	森蘊	284

[資料]金地院茶室の建築年代及作者	森蘊	286
第一図 金地院古図 (a) 部分模写		287
第一図 金地院古図 (b) 部分模写		289
[小評]薬師寺金銅仏の問題	足立康	291
[雑録]法隆寺壁画切取問題	足立康	293
[雑録]法隆寺壁画移転保存説の先駆	足立康	293
[雑録]二条城の白蟻禍	中上川彦一郎	294
[雑録]新国宝建造物の決定		294
[雑録]国史館計画の進歩	足立康	295
[雑録]法王帝説書写年代に関する疑	足立康	295
[雑録]「日本美術体系」の上梓 [藤懸静也監修]		295
[雑録]上宮聖徳法王帝説の復刻		296
[雑録]日本古代文化学会の設立		297
[雑録]藤懸博士の還暦記念会		297
[雑録]奈良帝室博物館及び大阪美術館の館長新任		297
[雑録]新会員		298
 第3巻第4号 (1941.7)		
[口絵]大日堂内陣厨子		
法隆寺新非再建論の新証拠	足立康	299
若草伽藍址発掘見取図 (性相による)		301
奈良彫刻の基調の問題	金森遵	310
東三条殿の東対について	関野克	325
第一図 東三条殿東対図 (中右記天永三年十月八日太政大臣宣旨下裏書)		325
第二図 年中行事絵巻大臣大饗図の一部 (東三条殿東対)		326
第三図 年中行事絵巻臨時客図の一部 (東三条殿東対)		327
第四図 東三条殿東対推定平面図		329
第五図 東三条殿東対代清涼殿鋪設図 (兵範記保元元年七月五日の条に依る)		331
第六図 清涼殿鋪設図 (禁秘抄による)		331
茅負曲線の一性質について	大岡実	333
第一図 浄土寺阿弥陀堂内置燈籠 [写真]		334
第二図 松生院本堂 [写真]		336
第三図 浄土多宝塔 [写真]		340
第四図 茅負比較図		341
宋代の石造勾欄	竹島卓一	343
第一図 重台勾欄と単勾欄		345
第二図 望柱の図 (石印本による)		347
室町時代に於ける西芳寺庭園の修理	森蘊	353

楼閣建築に関する一考察	太田博太郎	361
神宮寺本堂及仁王門	大岡実	365
第一図 神宮寺本堂全景 [写真]		366
第二図 神宮寺本堂平面見取図		366
第三図 神宮寺本堂内陣 [写真]		367
第四図 神宮寺本堂外陣 [写真]		367
第五図 神宮寺本堂墓股		367
第六図 神宮寺本堂木鼻		368
第七図 神宮寺仁王門 [写真]		368
第八図 神宮寺仁王門細部 [写真]		368
[資料]平城京及平安京の一条一坊	福山敏男	369
[資料]東大寺の四方五仏像	足立康	371
[資料]森蘊氏「金地院の庭園」を読む	沢島英太郎	372
第一図 南禅寺文書		373
第二図 南禅寺文書		373
第三図 南禅寺文書		374
第四図 南禅寺文書		374
第五図 南禅寺文書		377
第六図 南禅寺文書		377
[資料]高陽院の造庭工事について	森蘊	378
[小評]変説と徳義	足立康	383
[紹介]「日本美術史」 [濱田耕作著]	福山敏男	386
[紹介]図録「神宮徴古館陳列品図録」	福山敏男	386
[紹介]「京都古銘聚記」 [川勝政太郎・佐々木利三著]	太田博太郎	386
[雑録]日本科学史の編纂	太田博太郎	387
[雑録]新指定国宝建造物資料の展覧	関野克	388
[雑録]春暉の建築観	足立康	389
[雑録]橘夫人厨子扉の復原	大岡実	390
橘夫人厨子復旧前後の図		390
[雑録]芸術院新会員の決定	太田博太郎	390
[雑録]建築学会大会の開催		391
[雑録]聖徳太子千三百二十年御遠忌		391
[雑録]「日本上代文化の研究」の上梓 [法相宗勸学院同窓会]		391
[雑録]神道美術展図録の上梓		392
[雑録]内田博士の工学部長就任		392
[雑録]中上川幹事の東大卒業		392
[雑録]新会員		392
[雑録]佐藤功一博士の逝去		392

第3巻第5号(1941.9)

新顧問大熊喜邦博士	委員	
[口絵]大福光寺本堂		
匠家の伝書と権現造	大熊喜邦	393
[壹間社大社権現造（甲良伝書）]		394
[三社相（甲良伝書）]		395
[太社和様之造図]（甲良伝書）]		397
[太社唐様之造図（甲良伝書）]		397
正倉院文書に見えたる六宗厨子の彩色	野間清六	397
第一図 [厨子扉における諸尊の部位]		401
第二図 [具舎曼荼羅]		402
広隆寺講堂の三尊像	足立康	423
子石と門砧限・地	竹島卓一	431
第一図 門砧（石印本による）		433
第二図 臥[木+失]立[木+失]の推定図		436
第三図 臥[木+失]立[木+失]の図（右石印本 左復原）		438
第四図 城門石地（石印本による）		439
桂御別業に関する一考察	森蘊	441
王莽銭と漢の尺度	竹島卓一	469
[王莽銭]		469
談山神社権殿の建立年代	黒田昇義	473
大福光寺本堂及多宝塔	大岡実	478
第一図 大福光寺本堂細部 [写真]		479
第二図 大福光寺平面見取図		479
第三図 大福光寺多宝塔 [写真]		480
第四図 大福光寺多宝塔細部 [写真]		480
[資料]堀重門の形式について	関野克	481
第一図 [星光寺縁起]		481
第二図 [星光寺縁起]		481
第三図 [西行物語絵巻]		481
第四図 [春日権現霊験記]		481
第五図 [春日権現霊験記]		481
第六図 [信貴山縁起]		481
第七図 蒙古襲来絵巻		482
[資料]平安京及び宮城の指図	福山敏男	484
[資料]「慈照寺庭園は宮城豊盛の改築に非ず」を読む [龍居松之助著]		
	森蘊	485
[資料]備後利生塔	太田博太郎	486
[資料]遍照心院の庭園	森蘊	490
[紹介]国宝妙成寺経堂修理報告書	太田博太郎	493
[紹介]国宝中島神社本殿修理報告書	太田博太郎	494

[雑録]崇福寺址出土舍利容器の展観	足立康	496
[雑録]関野委員の光栄	太田博太郎	497
[雑録]佐野東大名誉教授	関野克	497
[雑録]新指定国宝建造物		497
[雑録]国宝（建造物）目録の上梓 [文部省宗教局保存課]	関野克	498
[雑録]法隆寺国宝保存工事事務所長の移動		499
[雑録]新入会員		499

第3巻第6号（1941.11）

[口絵]浄土寺阿弥陀堂

建仁寺の伽藍配置について	太田博太郎	501
第一図 東山往古之図		507
第二図 東山中古の図		508
勝尾寺の大鳥居	谷重雄	510
第一図 寛文の石鳥居（南面）		513
第二図 寛文の石鳥居右柱銘		513
第三図 遺跡見取図		514
第四図 東側礎石（北面） [写真]		515
第五図 西側礎石（南面） [写真]		515
第六図 寛元の大鳥居復原図		516
観心寺本堂と立掛塔	足立康	518
流盃渠・壇・巻 水窗の制度	竹島卓一	524
第一図 嵩福宮泛觴亭平面図		525
第二図 国宇流盃渠		527
第三図 風宇流盃渠		527
第四図 北京南海曲水亭 [写真]		528
第五図 楓橋 [写真]		533
第六図 巻 水窗の形式想定図		535
屋垂みについて	大岡実	538
第一図 平安朝の壺 [写真]		539
第二図 浄土寺阿弥陀堂		541
倭絵発生年代小考	家永三郎	545
円覚寺舍利殿建築年代	太田博太郎	549
[資料]京都大仏殿の間尺覚書 附、京都御所延宝度御造営覚書	大熊喜邦	552
[資料]主殿造連子窓の源流に就いて	関野克	555
第一図 [餓鬼草子]		556
第二図 [法然上人行状絵図]		556
第三図 [春日権現霊験記]		557
第四図 [奈与竹物語絵巻]		557

第五図 [春日権現靈驗記]		557
[紹介]支那建築装飾 第一巻	竹島卓一	559
[紹介]支那文化史蹟	竹島卓一	562
[紹介]「国宝弘前城二ノ丸辰巳櫓、同丑寅櫓、及三ノ丸追手門維持修理報告書」抄録		
	太田博太郎	564
[雑録]米国東北諸州の建築発達史	関野克	565
[雑録]内蒙古百靈廟北方汪古部遺蹟の調査		565
[雑録]奈良博物館長新任		565
[雑録]岡正夫氏の逝去		565
[雑録]森幹事の転任		566
[雑録]新入会員		566
 第4巻第1号(1941.1)		
[口絵]故足立康博士		
八坂神社本殿の形式	福山敏男	3
元徳三年祇園社境内絵図(神道美術展覧会図録による)		12
祇園社本殿指図(八坂神社文書による)		14
祇園社社殿推定指図		16
東福寺三門の建築について	太田博太郎	19
第一図 東福寺山門細部 [写真]		27
第二図 東大寺大仏殿細部 [写真]		27
東海寺の庭園	森蘊	28
第一図 江戸名所図会に現れた東海寺		30-31
第二図 東海寺鐘楼		34
第三図 東京市管理権現山公園の一部実測図		42
第四図 東京市管理権現山公園の一部に保存された古池 [写真]		42
第五図 万年石 [写真]		44
第六図 諸国茶庭名蹟図会所載聚楽法印作書院庭		46
第七図 諸国茶庭名蹟図会所載聚楽法印露地数奇屋之図		47
第八図 元禄再興当時の東海寺推定復原図		48
日本古建築に於ける裳階	大岡実	52
第一図 興福寺金堂平面図		54
第二図 興福寺古図の金堂		54
第三図 毛越寺金堂復原平面図		57
第四図 定光寺仏堂 [写真]		57
第五図 薬師寺東塔 [写真]		59
第六図 平等院鳳凰堂 [写真]		60
第七図 三仏寺投入堂 [写真]		61
第八図 法隆寺聖霊院内部 [写真]		61
第九図 茶室(不審庵)内部 [写真]		62

水槽子其他石造物の制度	竹島卓一	64
[槽子其他石造物]		68
[資料]長岡京の条坊	福山敏男	76
[資料]金地院の新方丈有楽好数奇屋	森蘊	77
[資料]金閣の造営年代	森蘊	81
[紹介]「法隆寺再建非再建論争史」 [足立康著]	大岡実	83
[紹介]「工作文化」の発刊 [日本工作文化連盟]		84
[紹介]「大和路」の刊行 [近畿観光会]		84
[雑録]大熊博士の芸術院会員推挙		85
[雑録]博物館従業員講習会開催	森蘊	85
[雑録]東京市名園鑑賞会	大岡実	85
[雑録]竹井幹事の転勤		85
[雑録]足立康博士追悼号		86
[雑録]大岡委員学位受領		86
 第 4 巻第 2 号 (1942.3)		
[口絵]書斎に於ける故足立康博士		
[口絵]故足立康博士筆跡		
足立康博士小伝		87
建築美学 (遺稿)	足立康	87
[故足立康博士] [写真]		90
栗原寺の露盤について (講演)	足立康	161
栗原寺三重塔露盤銘拓本		168
噫足立康博士	伊東忠太	183
足立君の研究生活	大岡実	185
足立康氏旅券		186
学位受領祝賀会於薬師寺地蔵院 (昭和 9 年) [写真]		188
足立君を追憶して	大熊喜邦	192
彫刻史と足立さん	金森遵	193
奈良帝室博物館事務所前にて [写真]		194
足立さんを憶ふ	小林剛	196
足立博士の学問	坂本太郎	198
奈良にて		199
足立博士の追憶	芝葛盛	201
足立康君の思ひ出	角南隆	202
足立博士を思ふ	関野克	205
本薬師寺にて (昭和十二年) [写真]		206
足立博士を惜む	高嶋米峰	208
足立博士を憶ふ	滝精一	210
康さんの思ひ出	竹島卓一	211

建築史研究会（昭和十二年九月）	[写真]	212
足立博士を憶ふ	谷重雄	215
足立兄の憶ひ出	谷信一	217
藤原趾にて	[写真]	217
足立氏の思ひ出二三	鳥羽正雄	218
足立先生を偲びて	中上川彦一郎	220
法隆寺再建非再建に対する新聞記事（東日昭和十四年三月二十五日）	[写真]	222
嗚呼、足立博士	中村直勝	224
藤原京発掘の監督（昭和10年夏）	[写真]	225
足立さんの追憶	野間清六	226
唐招提寺にて（昭和15年）	[写真]	226
足立先生を憶ふ	橋本凝胤	228
足立博士の思ひ出	福山敏男	233
耳成山頂にて花見の景（昭和十三年四月）	[写真]	234
足立博士の思ひ出	藤懸静也	236
法隆寺にて	[写真]	237
碩学足立博士を悼む	藤島亥治郎	239
藤原宮趾における足立先生	松崎宗雄	242
奈良鹿鳴荘前にて（昭和十一年五月）	[写真]	243
足立博士	松本栄一	245
奈良公園にて（昭和十一年五月二十五日）	[写真]	245
足立博士の追懐	宮地直一	246
足立先生と日本庭園	森蘊	248
奈良日吉館の庭にて（昭和十年五月）		249
足立先生	太田博太郎	251
足立康述作目録		253

第4巻第3号（1942.10）

[口絵]和歌山本願寺別院御主殿

日本庭園の源流とその形態について	森蘊	277
第一図 海洋の荒磯を表現する池中の立石群	平泉毛越寺（円隆寺）座園	[写真]
		279
第二図 和歌浦吹上浜を象ったと伝える六義園池畔	[写真]	282
第三図 法金剛院庭園の瀧石組	[写真]	284
第四図 法然上人行状絵巻法性寺殿庭園の瀧		284
第五図 正倉院御物麻布山水図（部分）		286
第六図 北野天神縁起絵巻是善公庭園の細流		287
第七図 大宰府神社古図写真		288
第八図 平泉毛越手寺（円隆寺）座園遣水石組	[写真]	288

第九図	山水並野形図挿図(石)		292
第十図	山水並野形図挿図(流・松)		293
神宮の八重櫓		福山敏男	297
第一図	内院石壺着座推定図		303
第二図	建久元年遷宮神宝読合行事手記の指図		305
第三図	御巫清直の八重疊位置推定図(八重櫓八重疊位置考証)		307
第四図	伊勢参宮名所図会に見ゆる小鳥井(中重鳥居)と八重櫓		308
和歌山市鷲森本願寺別院御主殿及対面所の建築に就いて		大熊喜邦	310
第一図	鷲森別院御主殿東面 [写真]		311
第二図	鷲森別院御主殿東面 [写真]		312
第三図	[南紀鷲森本願寺懸所現境内図絵ノ内(御主殿平面図)]		314
第四図	御主殿内部(小上壇を見る) [写真]		315
第五図	御主殿入側より中門を見る [写真]		316
第六図	[南紀鷲森本願寺懸所現境内図絵ノ内(対面所平面図)]		317
第七図	鷲森別院対面所内部 [写真]		318
日支に於ける建築曲線の成立		谷重雄	320
宋代に於ける木割の単位		竹島卓一	329
甲良神社本殿		大岡実	336
第一図	側背面 [写真]		336
第二図	側面詳細 [写真]		336
第三図	正面 [写真]		337
第四図	幕股 [写真]		337
第五図	木鼻 [写真]		338
第六図	斗 [写真]		338
[紹介]「日本住宅小史」 [関野克著]		太田博太郎	342
[紹介]図録「船屋形」 [牛尾健治著]		太田博太郎	344
[紹介]「二条城」 [沢島英太郎著]		太田博太郎	345
[雑録]南方への関心と建築家の態度		太田博太郎	346
[雑録]新指定国宝建造物			347
[雑録]福山委員の転任			348
[雑録]建築新書の発刊			348
[雑録]発行遅延のお詫び			348
第4巻第4号(1942.11)			
[口絵]金色堂正面			
[口絵]金色堂側面			
藤原時代の規矩(一)		大岡実	349
第一図	金色堂軒 [写真]		352
	中尊寺金色堂右側軒部実測図		352
神護寺薬師如来立像に関する疑問		金森遵	356

[神護寺薬師如来立像] [写真]		361
都城時代に見られる宅地班給について	関野克	366
宋代における斗 の種類	竹島卓一	380
春日造形社殿の分布に関する一考察	黒田昇義	387
第一図 那智神社本殿		398
第二図 甲良伝書に見える権現造		398
第三図 「神道名目類聚抄」に見える皇子造		400
[紹介]図録「名古屋城」 [名古屋市]	太田博太郎	402
[紹介]「法隆寺図説」 [朝日新聞社編]	太田博太郎	403
[紹介]「日本建築の性格」 [田辺泰著]	太田博太郎	404
[雑録]「碩学碑」除幕式に参列して	関野克	405
[雑録]東大第二工学部の開設		406

第4巻第5号(1942.12)

[口絵]三仏寺投入堂

香取神宮本殿	福山敏男	407
第一図 香取神宮神幸絵巻(模写)		413
第二図 文永七年注進による[女+盛]殿推定図		414
第三図 香取神宮社頭絵図(模本)		416
第四図 香取神宮主要殿舎平面推定図		418
第五図 香取神宮社殿指図(承応頃か)		420
第六図 香取神宮社殿指図(元禄度)		422
第七図 香取神宮社殿平面図(昭和十五年度改修後)		423
藤原時代の規矩(二)	大岡実	425
第一図 投入堂正面廂 [写真]		427
第二図 投入堂内部 [写真]		428
第三図 投入堂及愛染堂 [写真]		428
第四図 投入堂左側面廂 [写真]		429
第五図 投入堂背面左端 [写真]		434
第六図 投入堂規矩図		435
宋代における 的制度	竹島卓一	439
第一図 の基本型		443
第二図 眼の形		450
第三図 眼の削方		451
宇治離宮と宇治上神社拝殿	福山敏男	463
桂御別業之記について	森蘊	468
[紹介]「上代の彫刻」 [上野直昭著]	福山敏男	485
[紹介]「大和の石造美術」 [川勝政太郎著]	福山敏男	486
[紹介]「常楽寺本堂塔婆修理報告」 [滋賀県国宝修理出張所]	太田博太郎	487

[雑録]新指定国宝建造物	489
[雑録]文部省教化局の新設	494
[雑録]竹島委員の転任	494

第5巻第1号(1943.1)

[口絵]浄妙寺多宝塔

[口絵] 浄妙寺本堂仏壇格狭間

松尾神社の神像	福山敏男	1
女神像 松尾神社蔵 [写真]		4
仙台城大広間絵図に就いて	小倉強	8
第一図 [御本丸千畳敷之図]		10
第二図 御本丸大広間地絵図		10
宗代に於ける飛昂の制度	竹島卓一	13
飛昂変遷図		19
浄妙寺本堂及多宝塔	大岡実	21
第一図 浄妙寺全景 [写真]		21
第二図 浄妙寺本堂 「写真」		22
第三図 本堂内部 [写真]		22
第四図 本堂仏堂勾欄 [写真]		23
第五図 本堂仏壇螺鈿 [写真]		23
第六図 多宝塔初層 [写真]		24
第七図 多宝塔内部 [写真]		26
日本地誌目録(奥羽地方上)		28
[紹介]「国宝金剛寺塔婆及鐘楼修理報告」 [国宝金剛寺塔婆及鐘楼修理事務所]		
	太田博太郎	44
[雑録]昭和十七年中に認定された建築関係重要美術品		47
校注七大寺日記		48
国宝建造物府県別一覧表		59

第5巻第2号(1943.3)

室町時代に於ける庭園美に関する一考察	森蘊	65
閑院第の研究	太田静六	78
第一図 寝殿指図(玉葉 治承四年二月廿一日条所収)		86
第二図 寝殿西北・西南両渡殿を中心とする指図(山槐記 治承三年二月五日条所収)		86
第三図 閑院第西半部の指図(山槐記 治承三年一月六日条所収)		87
第四図 東対指図(玉葉 建久二年五月廿七日条所収)		88
第五図 東対南面・東中門廊北端指図(兵範記 仁安四年三月廿二日条所収)		93
第六図 東対指図(山槐記 治承三年五月廿三日条所収)		93

第七図 対広庇・東中門廓指図（玉葉 文治三年十一月廿四日条所収）	94
第八図 東中門廓指図（山槐記 除目部類承安四年一月十九日条所収）	95
第九図 東中門廓・東侍廊を中心とする指図（玉葉 安元二年三月廿四日条所収）	96
第十図 東中門から東門に至る迄の指図（玉葉 安元二年三月廿四日条所収）	96
第一一図 閑院亭復原図	98
下総国分寺本堂の礎石について	塚本文次 101
[下総国分寺本堂の礎石] [写真]	103
下総国分寺本堂礎石実測図（単位尺 - 昭和十七年十月実測）	104
[雑録]新指定国宝建造物	105
[雑録]博物館従業員講習会開催	111
[雑録]東京市公園開設七十周年恩賜並寄付公園感謝の会	111
校注七大寺巡礼私記（一）	113
第5巻第3号（1943.5）	
蟹満寺釈迦像臆脱	足立康 129
宋代に於ける飛昂の制度	竹島卓一 147
第一図 昂嘴の図	148
第二図 華頭子の図	149
第三図 の位置と下昂の出跳・勾配の関係図	151
法隆寺東大門の旧位置と移建年代	太田博太郎 156
第一図 漢宇古符号籠書 [写真]	158
第二図 と方立の仕口 [写真]	160
第三図 方立仕口に残る旧壁間渡穴 [写真]	160
第四図 法隆寺旧築地略図	165
日本地誌目録（奥羽下）	169
[紹介]「国宝建造物法隆寺東院南門及四脚門修理工事報告」 太田博太郎	179
校注七大寺巡礼私記（二）	180
第5巻第4号（1943.7）	
[口絵]法隆寺講堂正側面斜影	
[口絵]法隆寺講堂礎石裏面の繰出して円柱壓痕	
[口絵]同据付跡	
法隆寺講堂平面の変遷（上）	浅野清 193
第一図 法隆寺講堂発掘遺跡平面図	198
第二図 地 上面に存する孔の配置	205
宋代に於ける飛昂の制度	竹島卓一 207

第一図 保聖寺大殿		209
第二図 円妙觀三清殿 並びに六分頭図		211
第三図 蘇州文 大成殿 [写真]		212
第四図 龍興寺慈氏閣 [写真]		213
第五図 上昂鋪作側様図		215
南禅寺方丈庭園の造営年代及作者	森蘊	219
校注七大寺巡礼私記(三)		221
 第5巻第5号(1943.9)		
元和創初の日光山御宮造営に就いて	大熊喜邦	229
水戸城の三階櫓に就いて	藤岡通夫	233
第一図 水戸城三階櫓全景 [写真]		234
第二図 三階櫓古図(彰考館蔵)		237
第三図 三階櫓平面古図(彰考館蔵)		238
第四図 三階櫓三ノ重天井 [写真]		241
日本庭園に於ける橋梁について	森蘊	246
第一図 麻布山水図		248
第二図 王維山水図		249
第三図 大宰府神社古図		251
第四図 大宰府神社反橋 [写真]		252
第五図 年中行事絵巻朝觀行幸図		254-255
第六図 称名寺結界図		257
第八図 永保寺庭園無際橋 [写真]		260
第七図 丹生比売神社社頭図		261
第九図 洛中洛外図細川邸庭園		262
第十図 明月院古図		263
宋代に於ける爵頭の制度	竹島卓一	270
[爵頭]		272
校注七大寺巡礼私記(四)		275
 第5巻第6号(1943.11)		
春日神社若宮細殿御廊神楽所の旧規	黒田昇義	293
第一図 春日神社若宮細殿御廊神楽所(西北面) [写真]		294
第二図 同上(東北面) [写真]		294
第三図 春日権現験記		295
第四図 春日若宮社古図		297
第五図 平面変遷図		298
東大寺法華堂復原考	浅野清	299
第一図 東大寺法華堂断面図		304
第二図 東大寺法華堂側面図		307

第三図 東大寺法華堂平面図		310
宋代に於ける の制度	竹島卓一	321
[]		327
法隆寺講堂平面の変遷(下)	浅野清	329
第三図 柱に存する旧仏壇取付痕跡		334
第四図 法隆寺講堂修理前桁行断面図		338
第五図 法隆寺講堂梁行断面図 (a) 修理前		339
(b) 修理後		339
第六図 古今目録抄記載当時の天井復原図		340
第七図 法隆寺講堂平面の変遷		347
校注七大寺巡礼私記(五)		351

第6巻第1号(1944.1)

近世初頭に於ける鹿島神宮の造営	宮地直一	1
第一図 鹿島神宮楼門内建物配置図		22
第二図 永禄二年記による鹿島神宮本殿側面想定略図		25
第三図 鹿島神宮攝社奥宮本殿平面図(現在)		27
第四図 鹿島神宮本殿平面図(現在)		30
第五図 鹿島神宮本殿・石之間・幣殿屋根繋ぎ側面図		33
鳥羽殿勝光明院について(上)	角田文次	43
日光御造営御上棟之記		50
表紙		50
奥書		50

第6巻第2号(1944.3)

近世京都御所御造営略志稿	大熊喜邦	59
石山寺大日塔四天柱の柱絵考	田中重久	84
第一図 石山寺大日塔本尊大日如来像(野田吉兵衛氏写真) [写真]		85
第二図 石山寺大日塔四天柱其の伏蓮華座(西南柱)(野田吉兵衛氏写真) [写真]		86
第三図 石山寺大日塔西南四天柱西面上段の軍荼利明王坐像(野田吉兵衛氏写真) [写真]		86
第四図 石山寺大日塔四天柱第二段四面諸尊配置図		87
第五図 石山寺大日塔四天柱上段四面諸尊配置図		87
第六図 十念寺の仏鬼軍絵巻(部分) 京都市写真		89
鳥羽殿勝光明院について(中)	角田文次	91
[書評]「日本住宅史」 [藤原義一著]	太田博太郎	101

第6巻第3号(1944.5)

浄瑠璃寺の建築と庭園	森蘊	
------------	----	--

第一図	浄瑠璃寺九体阿弥陀堂 [写真]	105
第二図	拾遺都名所図会所載浄瑠璃寺境内図	110
第三図	浄瑠璃寺境内実測平面図	111
第四図	浄瑠璃寺境内鳥瞰図	112
第五図	浄瑠璃寺三重塔 [写真]	117
第六図	北汀より見たる浄瑠璃寺庭園 [写真]	119
第七図	浄瑠璃寺阿弥陀堂前の石造水鉢（永仁四年在銘） [写真]	120
第八図	浄瑠璃寺三重塔名石燈（貞治五年在銘） [写真]	121
鳥羽殿勝光明院について（下）		角田文次 123
[書評]「日本の古建築」 [太田静六著]		太田博太郎 140

第6巻第4号（1944.7）

唐招提寺金堂復原考		浅野清 143
第三図	唐招提寺金堂断面復原詳細図	147
第四図	唐招提寺金堂旧腰長押取付痕跡	149
第五図	唐招提寺金堂連子窓内部現状	150
第一図	唐招提寺金堂正面復原図	150
第二図	唐招提寺金堂側面復原図	150
第六図	唐招提寺金堂連子窓復原平面図	151
第七図	唐招提寺蔵敷瓦 [写真]	157
第八図	唐招提寺金堂旧小屋材見取図	160
称名寺の建築と庭園		森蘊 174
第一図	金沢文庫蔵 国宝称名寺結界図	179
第二図	称名寺庭園、現旧対照図	185
第三図	称名寺復原図	188
[書評]「日本建築経済史」 [原沢東吾著]		太田博太郎 192

2005年2月5日

編集 伏見唯